

1.技 術	1.3 生物処理による下廃水の処理
2.事 業 名	1.3.23 高濃度漬物工場排水処理技術の開発研究
3.キーワード	漬物工場、MBR、排水処理、バチルス菌
4.目 的	<p>開発研究は事業化を推進するユーザー、水処理装置メーカー等企業、宇都宮大学及び本財団が分担して行った。</p> <p>事業の目的は、高濃度の汚染物質及び塩分を含む廃水を、好気性菌の一種であるバチルス菌を主体とする生物処理と、近年排水処理分野で注目されている膜処理を組み合わせる技術を開発した。</p>
5.内 容	<p>開発研究の内容は次の4項目である。</p> <p>(1) バチルス菌増殖技術の開発</p> <p>(2) バチルス菌高濃度下の浸漬膜ろ過技術の開発</p> <p>(3) バチルス菌の性能評価技術</p> <p>(4) 総合調査研究</p> <p>平成11年度は、前年度に漬物工場内に設置した処理規模9m³/日の浸漬式膜分離活性汚泥処理装置の運転を中心に開発研究を実施した。</p>
6.成 果	
7.参 照	(財)JKA